

平成 24 年度

教育委員会の事務の執行状況の
点検等に関する報告書

(決算に係る主要な施策の成果に関する実績報告書)

陸前高田市教育委員会

はじめに

これは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第27条に定める報告書となるものです。

なお、報告書の内容は、「平成24年度決算に係る主要な施策の成果に関する実績報告書」のうち、教育委員会が所管する部分を抜粋したものです。

平成25年10月

陸前高田市教育委員会

10 款 教育費

【学校教育関係】

被災児童生徒が多い中において、学校教育の復興基本計画である「確かな生きる力を培うための学力向上や豊かな心の育成、キャリア教育の充実」、「長期にわたる児童生徒の心のケア及び健やかな体を育む教育の充実」、「生涯を通じ安全な生活の基礎を培う防災教育の充実」、「小中学校の安全と早期の教育環境の充実」に向け、震災特別加配や特別支援教育支援員の配置を受け、より一層児童生徒の学習指導や心のケアに努めた。

教育研究所においても、加配により指導主事3人と教育相談員1名の4人体制を確立し、諸研究のほか教職員のスキルアップと児童生徒のきめ細かな指導、防災教育の実践や支援団体との交流等を行った。

震災の影響により児童生徒を取り巻く環境が大きく変化したことにより、通学困難な被災家庭への就学援助や子どもの学び基金での孤児支援を行うとともに、通学環境の変化により市内10路線でスクールバスを運行し、全体の約3割にあたる児童生徒が利用している状況となっている。併せて体育館の被災や仮設住宅の立地のため児童生徒の運動が制限されることから、他の施設での活動や部活動を行うための体育活動バスの運行による代替活動支援も行った。

【学校施設・設備関係】

震災により学校施設の多くが甚大な被害を受けており、また、仮設住宅用地として多くの学校グラウンドが利用されていることから、施設の早期復旧さらには仮設運動場の整備が急務となっている。平成24年度は、校舎や体育館の災害復旧と併せて施設の耐震補強工事を実施し、前倒しで全ての小中学校施設の耐震補強を完了させ、併せて児童生徒の運動の場の早期確保に向け、第一中、米崎中、広田小の3校の仮設グラウンドの整備を図った。

さらに、平成25年4月1日統合予定の気仙小と長部小、広田中、小友中及び米崎中については、統合に向けた協議会での協議を重ねるとともに使用校の模様替えや諸設備の配備工事等開校に向けた諸準備を行い、3月には統合となる各学校の閉校式も地区の皆様のご協力により滞りなく举行了。

また、統合新設の高田東中学校の移転新築においては、建設場所を決定し、建築設計業者についてもプロポーザル設計審査により決定し、平成28年度の新校舎への移転に向けた取り組みを行った。

【学校給食センター関係】

震災後、初めて通年で、安全・安心な学校給食を提供し、「食に関する指導」の充実を図った。

特にも、住田町学校給食センターなどの支援を受けて、米飯給食を週3日から週4日に増やすとともに、ステンレス製の一食容器から、学級ごとの食缶配食とすることにより、児童・生徒が各教室でお椀に盛り付けることで、より家庭的雰囲気の中で食事ができるようになった。

給食食材の放射性物質濃度測定を8月から毎週1回実施し、測定結果を「給食だより」と市のホームページで公開し、より一層の安全・安心を確保することに努めた。

学校給食費は、従来の「集団納入方式」から「個別納入方式」に変更した。あわせて口座振替を6月分から開始した。

【生涯学習・社会教育関係】

生涯学習の推進については、市広報やホームページ、フェイスブック等の活用による生涯学習情報の提供に努めたほか、生涯学習出前講座を再開し、市長部局や関係機関と連携しながら市民の学習要求に応じるよう努めた。

生涯学習ボランティア養成では、中高生のボランティア意識の向上と自主的な社会参加を促進するため、市役所各課や関係団体が実施する事業に中高生ボランティアを派遣したほか、新規事業である「学校支援地域本部事業」により各学校に地域コーディネーターを配置し、その調整のもと地域ボランティアの活用を進め、様々な教育活動や教育環境の充実を図るとともに、子どもを中心とした地域活動や地域住民の学習・交流機会を設け、地域コミュニティの再生を支援した。

社会教育の推進については、「市長と児童の語る会」や「未来ミーティング」を開催し、児童生徒のまちづくりや復興への意識高揚を図ったほか、市内の各種団体等が行う子どもたちの知・徳・体を育むための活動に対して補助金を交付し、子どもたちの生きる力の育成を図るとともに、地域の教育力の向上を図った。

また、「明日の親となる中高生のための子育て理解講座」を開催し、命の大切さや、子育ての大変さ、楽しさなどについての理解の向上を図ったほか、「教育振興運動研修会」や「働く親のための教室コミュニティカレッジ」、「子育て講座」を開催し、学校・家庭・地域の連携を推進するとともに、家庭の教育力の向上を図った。

【芸術文化関係】

高度に進展する情報化社会の中で、心の豊かさ・情操教育等が求められている観点から、小中学生を対象にした青少年劇場で器楽2公演、市民対象の青少年芸術鑑賞事業でミュージカル・演劇等を実施し優れた舞台芸術の鑑賞機会を設けること、また芸術文化団体の自主的活動を補助し、市民が広く芸術文化に触れ、また自ら参加する機会としての市民芸術祭（展示・舞台・会席部門）の開催など、市内の文化振興発展を図ることに努めた。

【文化財関係】

埋蔵文化財緊急発掘調査事業では、平成22年度及び平成23年度に発掘調査を実施した本宿館（横田城）の発掘資料を整理するとともに、復興事業地埋蔵文化財発掘調査事業では被災者の個人住宅建設に伴う発掘調査を堂の前貝塚及び飯森場遺跡で実施した。

文化財等保存活用計画策定調査事業では、当委員会設置要領を制定し、業者や委員の選定を行った。委員会は、全体委員会と3つの部会（調査部会・保存方針計画策定部会・今泉地区文化財等活用計画部会）での構成となっており、平成24年度は、第1回部会長会議を開催した。

中沢浜貝塚歴史防災公園整備事業では、文化庁との事前協議を行ったところであり、平成25年度に整備に係る基本計画を策定する。

【公民館関係】

生涯を通じて創造的に学び続けることができるよう「学び」の環境整備を進めることに努め、家庭教育学級については保育所（園）・小中学校等と、成人教室・高齢者教室については各地区公民館と連携して実施した。また、ゆとりある市民生活を送るために必要な知識・技能を習得する場の提供として市民講座の開設に努めた。

【図書館関係】

仮設図書館の開館に向け寄贈図書の登録作業と資料収集に努め、また支援団体から仮設図書館建物寄贈により12月に開館することができた。

移動図書館運行については、寄贈された「はまゆり号」と「やまびこ号」で7月から市内の巡回を開始した。巡回場所については、仮設住宅など新規の場所を増やし利用者の利便を図った。

ブックスタート事業については、乳児健診時の読み聞かせや絵本の手渡しを行い保護者の意識向上に努めた。

また、市内に設置された民間の図書室3か所と連携したことにより市民サービスの向上につながった。

【博物館関係】

被災ミュージアム再興事業の採択を受け、被災資料の安定化処理および安定化処理の終了した資料の抜本修復を行った。安定化処理作業の効率化では乾燥用・作業用プレハブ、プレハブ型冷凍庫のリース、脱塩用水槽およびリフト、大型超音波洗浄機の設置を行った。

収蔵環境等の整備では、体育館および図書室に仮設収蔵庫、各教室に暗幕、エアコン、除湿機の設置、高圧受電設備の設置、環境測定機器の設置を行った。安定化処理の終了した資料の抜本修復では拓本軸装、染織資料、考古資料、民俗資料、ツチクジラなどの修復保管管理等を専門機関に委託した。

展示公開では国立科学博物館との連携による震災復興・国立科学博物館コラボ・ミュージアム「アロサウルスがやって来た」の開催をはじめ、大阪自然史博物館等とのワークショップを行った。

資料収集事業では、新規に高田人形、漁具、農具などの民俗資料の収集を行った。

教育普及事業では、天体観察会、文化財レスキュー関連出前講座を実施し、文化財レスキューへの理解促進と文化財保護意識の高揚に努めた。

【スポーツ振興関係】

震災によりほとんどの運動施設が被災したため、被災を免れた運動施設や学校開放事業により市民が運動できる場の確保を図った。被災した多くの住民が仮設住宅で暮らしていることから、チャ

レンジ・デーを開催し気軽に運動できるイベントを実施した。また、JOCの支援によりオリンピックデー・フェスタを開催し、スポーツ少年団の子どもたちとオリンピックの絆を深める交流イベントを行った。

このほか、市の体育協会や市のスポーツ推進委員協議会等と連携し、市民体育大会の開催や県民体育大会参加への支援を行い生涯スポーツの振興に努めるとともに、各種講習会や研修会の実施により指導者の養成を図った。

1 1 款 災害復旧費

【災害復旧関係】

震災により学校施設の多くが甚大な被害を受けており、施設の早期復旧が急務となっている中において、入札の不調や資材不足等により順調に工事が進まない状況となっている。平成24年度においては、前年度から繰越した工事の完成に向け急ピッチでの作業を行い、小友小以外の学校の工事は完了し引き渡しを行った。

小友小については、小友中と合同で施設を利用しており、空き教室がなく工事が進まないことやプール工事の特殊性等から工事が遅れ、再度次年度への繰越を行う結果となった。